

協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.45



2月

発行 / 社団法人国際観光施設協会
総務委員会
〒102-0071 東京都千代田区富士見
2-7-18 飯田橋ビル2号館
TEL03-3263-4844
FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp
URL : <http://kankou-fa.jp>

2004年2月1日

観光を巡るパラダイムの大転換

副会長 涌井 史郎

我々観光施設に携わる者にとり、昨今の国づくりを巡るパラダイムの変化は見逃せない。これまで、空間や施設に関わる技術者は、常に、成長の力学に牽引され、開発・建設のベクトルを指向してきた。バブル崩壊後ですら、回復という願望から、開発・建設の能力をいかに保持し、来るべき日に備えたいとの想いをその胸中に秘めている人々が多い。今だ景気循環的発想を捨てきれないからであろう。

しかしパラダイムは確実に変化している。しかもそれは、我国の構造基底に及び変化なのである。それは、人生そのものの目標の変化と相俟っている。これまで日本人の幸福の実現は、幸福=物的充足/物的欲求度の図式で理解できるものであった。しかし今は違う。幸福は、=時間充足/自己実現欲求度と云う図式で説明された方が理解しやすい。つまり、モノを指標とした幸福より、人間らしく生きる。豊かさを追い求めるのではなく、深めたいとする願望なのである。このキーワードは、「成熟」と考えてもよからう。

人々が右肩上がりに走る時代のストレス解消と云う言葉より、癒しと云う言葉が急速に広まっているのも、この辺りの心境が投影していると思われ取れないであろうか。

開発・建設より、在るものの価値を見直し、それを巧に運営・管理する技術が求められている。所謂サービス・ソフトに対するニーズの向上である。文明より文化、巨大さよりヒューマンスケールこそが望まれている。国の政策もこうしたパラダイムの変化に追い付き、或はリードしようとする方向を明確にしようとしている。

それが観光政策にも反映している。当初のイン・アウトバウンドの量的バランスを巡る議論から、観光は、優れた我が国の潜在的な自然や文化の

資質に着目し、それをブラッシュアップし、国家のブランド力として世界に発信する手だてとする結論に導かれたのである。「住んでよし、訪れてよしの国づくり」と観光立国推進会議が銘うったのも、そうした立脚点からである。

平行して、国土交通省も、その自己目的の表現を「美しい国づくり政策大綱」として公表、その具体的施策遂行の為、今次国会で所謂「景観三法」と称される法制化を実現しようとしている。

「国のブランド」或は「美」や「景観」といった主観に関わる表現が国策に登場したケースはおよそ過去に無い。つまり国もまた、国の行方を「成熟」の方向へと大きく舵を切ったのである。

我々観光に技術をもって貢献しようとする者は、率先してこうしたパラダイムの変化に対応した技術を社会化できる態勢を整える必要がある。とりわけ我々の技術の対象が国家や産業界にあるばかりでなく、成熟により幸福を得たいとする広範な市民社会にもあることを深く意識すべきと言えよう。「羨むべき暮らしを営んでいる。或は羨ましくなるような生活を築いている」施設であり、空間もまた観光施設であることを改めて認識すべきではなからうか。

しかも美しい環境や空間が、単体としてではなく地域・地区全般に亘るハーモニー、つまり景観の調和が備わる空間として実現していることが求められている。

こうしたパラダイムの大転換を常に意識し、それに対応できる独自の技術を持って貢献する団体。それが我々国際観光施設協会であると言える方向に、一刻も早く、これまでの伝統と蓄積を活かしながらの第一歩を踏み出す可きと考える昨今である。

平成16年度通常総会 予告

平成16年度の通常総会開催が次の通り決まりましたので、ご予約に入れておいて下さい。

日時：平成16年6月15日(火)午後

場所：日本工業倶楽部(昨年、復元保存・改築)

平成 15 年度「忘年交歓会」報告

12月3日に恒例の福引付忘年交歓会が、関連協会の方々をはじめ、会員の方々150名の参加をいただき「ロイヤルパーク汐留タワー」で開催されました。客室見学後の交歓会ではホテル総支配人を交えて、新しい情報・文化の発信基地、汐留エリアの話題で大いに盛り上がり、美味しい料理とアルコールで眼下の東京湾が100万ドルの夜景に・・・、大変盛況でした。

賀詞交歓会 報告

1月16日には賀詞交歓会が「グランドヒル市ヶ谷」にて開かれ、98名の会員が新年を寿ぎ、会員相互の交流を深めました。

はじめに、村尾会長から「観光立国への取組みが本格化するなか、当協会に期待される役割が大きいため、会員とともにいっそうの努力を続けていきたい」とのご挨拶がありました。

東京ドーム天然温泉 Spa La Qua 見学会ご案内

都会の天然温泉で日頃のストレスを洗い流してみませんか！

すでにご案内しておりますが、定員に余裕がありますのでぜひご参加下さい。

お申込は協会事務局までご連絡下さい。

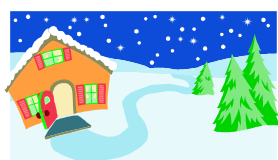
- ・日 時：平成 16 年 2 月 5 日(木)15 時～19 時
- ・場 所：「東京ドーム天然温泉 Spa La Qua」
TEL：03-5800-9999
- ・内 容：施設概要説明・施設見学・入浴体験
・懇親会
- ・締 切：2月3日(火)までにお申込下さい。
- ・参加費：一人 ¥10,000

「21 世紀のリーディング産業へ」紹介

(社)日本ツーリズム産業団体連合会(TIJ)では、昨年に引き続き、「21世紀のリーディング産業へ～わが国のツーリズム産業の経済波及効果～」のパンフレットを発行しました。

内容は、世界のツーリズム市場の動向、わが国のツーリズム市場・消費の波及効果、ツーリズム産業の国際比較、都道府県レベルでのツーリズムの現状などがグラフ・表を使って簡明に解説されております。

ご入用の向きは、当協会事務局か、
TIJ (TEL03-5299-6510 FAX03-5299-6512)まで



都市観光活性化推進会議 紹介

(社)日本観光協会主催の都市観光の活性化推進会議が昨年度に発足し、魅力あふれる個性的国際競争力を持つ都市観光の推進方策に向けて調査研究を行い、今年度末には「都市観光活性化プラン」を提言する予定です。

今後の国際観光都市振興方策の体系が示され、観光活性化の推進に向けて貴重な提言がなされることが期待されているところです。

村尾会長が委員に就任され、4つのワーキンググループのうち、「誰もが楽しめる旅行環境の整備」の座長をされております。

新入会員紹介

[設計・調査] 株式会社佐藤総合計画

(代表者) 代表取締役 島田 孝好
(担当者) 理事部長 吉村 健二
〒130-0015 東京都墨田区横網 2-10-12
TEL03-5611-7210 FAX03-5611-7226
業種：建築設計コンサルタント

[メーカー] 株式会社インタールクス

(代表者) 代表取締役 阿久根正次
〒104-0042 東京都中央区入船 1-9-6
秋元ビル 4F
TEL03-5117-2071 FAX03-5117-2072
業種：照明器具の販売、特殊照明器具のデザイン・製造・販売・輸入

交流部会「ゴルフ会」

第84回目の協会ゴルフ会が5月13日(木)に栃木県の「ヴェルデ佐野カントリー倶楽部」において開催されることが決定しました。緑と水の景観美と戦略性に富んだコースで是非多数の参加をいただき交流を深めていただければと思います。特に設計事務所の会員の方々の参加をお願い致します。

カメラ倶楽部のお知らせ

四季のすばらしい風景を求めて今年も楽しい撮影会を開催したいと思います。

計画では、4月に桜が咲く明るい日差しの街並みを求めて風情のある川越へ、10月には素晴らしい紅葉の風景が期待できる奥飛騨や上高地など初めての試みとして泊り掛けで計画してみたいと思っています。詳細の発表に期待して下さい。多数のご参加をお待ちします。

♥ 編集後記 ♥

年が改まって協会も今年で51年目、昨年50周年記念行事が行われましたが、今年は次のステップの初年度として気持ちを新たにして頑張りたいと思います。この協会だよりも少し内容を広げてより新鮮な情報を掲載して行きたいと思います。皆様からのご意見やご提案をお待ちしています。

Y . K